

こおりやま広域圏連携事業

福島大学と郡山市の連携による

「農学実践型教育プログラム成果報告会」を開催します



ターゲット 2.4

令和4年1月19日

郡山市農林部

農業政策課

課長 和泉 伸雄

TEL：924-2201

SDGs ターゲット 2.4 「災害に対する適応能力を向上させ、持続可能な食料生産システムを確保し、強靱な農業を実践する」

福島大学と郡山市の連携事業の一環として、農業、食品産業等の発展及び振興を図ることを目的に「農学実践型教育プログラム成果報告会」を開催します。

- 日時 1月21日(金) 午後4時30分～午後6時30分
- 会場 ミューカルがくと館 大ホール
- 内容 福島大学食農学類1期生(3年生)が当該プログラムの活動成果を発表します。
テーマ(1) 郡山フィールド
「ワインを核とした地域農業の活性化」
主担当 則藤 孝志 准教授
(2) 猪苗代フィールド
「いなわしろ農産物ブランドとツーリズム推進による集落活性化」
主担当 熊谷 武久 教授
- 参加者 こおりやま広域圏の高校生、市内農業者、各市町村職員 など

<福島大学食農学類 農学実践型教育プログラム>

学生と教員をメンバーとして地域の食と農に関する課題に取り組むプログラムで、福島県内7つの自治体で実施されています。

こおりやま広域圏内においては、郡山市及び猪苗代町において実施されています。

<福島大学と郡山市における農業に関する連携>

郡山市は、2013年に福島大学経済経営学類・大学院経済学研究科と連携協定を締結、その後2019年4月1日開設の福島大学食農学類と連携協力に関する覚書を締結し、公開授業の開催、本市農業関係者の福島大学大学院への派遣及び農学実践型教育プログラム等、農業や食品産業等の振興に向けた取組みをしております。

郡山市・福島大学連携

食農学類農学実践型教育プログラム 郡山・猪苗代フィールド成果報告会

地域を舞台とする福島大学・食農学類の新たな教育プロジェクトが始動しました。
郡山フィールドは『ワインを核とした地域農業の活性化』、
猪苗代フィールドは『いなわしろ農産物ブランドとツーリズム推進による集落活性化』
について、食農学類1期生（3年生）が活動成果を発表します。



郡山市：逢瀬ワイナリー現地調査



郡山市：逢瀬ワイナリー現地調査②



郡山市：大堀農園（トマト農家）



郡山市：安積疏水を視察



猪苗代：集落・里山活性化グループ



猪苗代：加工食品開発グループ



猪苗代：農業・観光活性化グループ



猪苗代：特産物付加価値化グループ

農学実践型教育プログラムとは？

- 福島大学食農学類の専門領域4コース横断でプログラムメンバーを編成し、地域の食と農に関する課題に取り組み実践力を養成するプログラムです。
- 福島県内の7つの自治体（会津：猪苗代町、中通り：福島市・伊達市・郡山市西郷村、浜通り：南相馬市・飯舘村）をフィールドとして「学生」と「教員」が地域の皆さまと一緒に取り組みます。
- 本プログラムは必修科目として1年と半年間取り組みます。このようなカリキュラムは他の農学系の大学では見られない試みです。



プログラム実施自治体



食農学類教員

2022.1.21(金) 16:30～18:30

会場：ミュールがくと館 大ホール
(住所：郡山市開成1丁目1番1号)

お問い合わせ[1]

郡山市農林部農業政策課

〒963-8601 郡山市朝日1丁目23番7号

TEL: 024-924-2201 FAX: 024-938-3150

お問い合わせ[2]

福島大学 食農学類 食農地域連携推進室

〒960-1296 福島市金谷川1番地経済経営学類棟308室

TEL・FAX: 024-548-8380



プログラムHP